

# 学校便り 6月号

令和3年5月25日発行

和歌山市立岡崎小学校

学校長 塩谷 通功

## 「温故知新」～ 中国の古典・孔子から学ぶ ～

未だ、コロナ禍収束の気配が見えず、日常生活において不自由で制約の多い生活を強いられています。皆様方もさぞかしお疲れのこととお察しいたします。

学校生活においても同様で、これまで当然のように実施してきた学校行事の一つ一つが、感染拡大予防のための新しい生活様式という名のもと、その時々状況に合わせて模索検討しなければならず、過重な負担がかかっています。

また、ご存知のように、昨年度から、小学校を皮切りに新学習指導要領の全面実施が始まり、GIGA スクール構想という ICT 環境の整備と学習指導方法の工夫改善、少人数によるきめ細やかな指導体制、教科担任制、校種間連携（幼・小・中）などについても研究・実践を求められているところです。

中国古代の思想家である孔子は、「論語」のなかで、「故きを温めて新しきを知る、もって師たるべし」と答えています。つまり、人の師たるものは、過去を振り返り、歴史・先例・先達から様々なことを学び今に活かさないとい、人の師たるもののあるべき姿、心構えを説いています。

今の私達、学校教育関係者には、過去から学ぶことだけでなく、最新の技術や情報を学ぶことが求められています。様々な情報や学ぶことが多すぎる、と教職員から悲鳴が聞こえてくる気がしますが、「学ぶ楽しさ、知る喜び、目標達成の充実感」を、子供たちが身をもって感じるように今後も努めていきたいと考えています。

## 自ら考え、主体的に動く・・・

児童会の子供達が計画し、5月18日から各学級であいさつ活動が始まっています。目標は、「みんながあいさつをできるようにする」ということだそうで、このあいさつ活動には「おまけ」がついています。あいさつの終わりに、「じゃんけん」をするというものです。何事も楽しみながらということでしょうか、子供らしい発想ですね。

始業式の日、「みんなで力を合わせて素敵な学校にしましょう」と話しましたが、子供たち自身が、課題意識をもって校内の様々なことにこれからも取り組んでくれることを願っています。

トイレのスリッパが年度初めのころに比べて揃ってきているように感じています。自分の次に使う人のことを考えられていますね。大変喜ばしいことです。